

製品名: DRIP130 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86233

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW:157 kDa; Observed MW:130 kDa

抗原情報

遺伝子名	DRIP130
別名	SUR2; CRSP3; MRT18; SUR-2; ARC130; CRSP130; CRSP133; DRIP130
遺伝子 ID	9439
SwissProt ID	Q9ULK4
免疫原	ヒト DRIP130 の合成ペプチド

背景

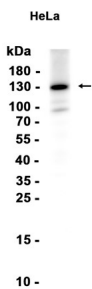
遺伝子転写の活性化は、DNA 中の転写エンハンサー部位を認識する因子によって引き起こされる多段階プロセスです。これらの因子

は、コアクチベーターと連携して RNA ポリメラーゼ II 装置による転写開始を誘導します。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CRSP (SP1 活性化に必要な補因子) 複合体のサブユニットであり、TFIID とともに SP1 による効率的な活性化に不可欠です。このタンパク質は、甲状腺ホルモン受容体 (TR) 関連タンパク質など、他の多サブユニット複合体の構成要素でもあります。TR 関連タンパク質は TR と相互作用し、開始因子および補因子と連携して DNA テンプレート上で TR の機能を促進します。このタンパク質は転移抑制因子としても機能します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2012年7月]

研究分野

-

画像データ



DRIP130 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。